

編集・発行
若松地域センター管理運営委員会

ふれあい情報誌

わがまち わかまつ



2023年 12/28 発行



笑顔いっぱい！「第26回 若松ふれあいまつり」

2023年10月22日(日)

当日は秋晴れのまつり日和、約1,500名の参加者と234名のスタッフとの交流が随所で生まれ、笑顔があふれました。ふれあい縁日、みんなでハロウィン!楽しいね、一日職業体験、作って遊ぼう!など、子どもが楽しめるコーナーには終日大勢の家族連れが参加して、コロナ前の賑わいが戻ったようでした。「まつり」を通して、若松地域が豊かで楽しい、住んで楽しい「笑顔いっぱい!」のまちとなれば幸いです。若松地域センター管理運営委員会



第22回若松地区コミュニティスポーツ大会 10月8日(日)

大会は、午前9時より余丁町小学校の体育館で盛大に開催されました。午前に行われた輪投げには、町会・自治会代表37チーム、下は5歳から上は90歳の111名、午後からのポッチャは16チーム48名、ユニカール2チーム6名が参加し1投ごとに歓声上がり、笑顔あふれる大会となりました。

まさにコミュニティスポーツ大会の目的である、地域でのスポーツ活動を通じて、社会参加や仲間づくりを促し世代間交流を広げる、有意義な1日となりました。



【輪投げ】

チーム対抗の部		
優勝	ミラクル(戸山ハイツ西地区自治会)	247点
準優勝	ゴールド(戸山ハイツ南地区自治会)	186点
3位	ヤマビコ(戸山ハイツ西地区自治会)	185点
町会・自治会の部		
優勝	戸山ハイツ西地区自治会	527点
準優勝	戸山ハイツ東地区自治会	389点
3位	戸山ハイツ南地区自治会	380点

※町会・自治会対抗の部は、各町会・自治会3チームの点数の合計による。

【ポッチャ】

優勝 三藤
準優勝 タイガーズ
3位 とみこチーム

【ユニカール】

優勝 戸山の花
準優勝 台町ヒーローズ

【ビーチボールバレー】

優勝 北



予告 若松地域センター管理運営委員会の催し

第3回芸術作品鑑賞会

東京都立総合芸術高等学校
生徒の作品展を開催します。

(1月～3月予定)

場所:若松地域センター2階 廊下



第6回文化シリーズ 2月25日(日)

あの歌声喫茶「ともしび」が若松地域センターにやってくる!
～ライフアップ 「みんなで歌って健康に」～

昭和を彩った懐かしい曲の数々をみんなで楽しく元気いっぱい歌いましょう!
どの曲を歌うのか決めるのは、参加者の皆さまです。

【時間】午後2時～(開場1時30分)

【申込】先着100名(事前に申し込み制) 無料

【対象】中学生以上 【会場】若松地域センター3階ホール

※申し込み方法は、追ってお知らせします。

●映画鑑賞会3月16日(土)

詳細は、追ってお知らせします。お楽しみに!



第12回箱根山駅伝大会2024

開催日:2024年3月10日(日) 12時30分スタート

今年度も小学生の部、一般の部、町会自治会の部の3部門でレースを行います。1月25日(木)より、チームエントリーを開始します。

5人1組でのご参加をお待ちしています。

主催:若松地区協議会

共催:若松地区町会連合会

若松地域センター管理運営委員会



若松地区・町別人口

住吉町=2,795 市谷台町=1,449 富久町=7,186 河田町=3,011 若松町=5,855 余丁町=4,098
戸山1丁目=2,482 戸山2丁目=5,309 戸山3丁目=1,130 新宿区人口=349,376 (2023.12.1 現在)

若松地域センター管理運営委員会の催し

若松ふれあいまつり「一日職業体験」

公益社団法人東京青年会議所新宿区委員会

若松ふれあいまつりに参加して、メンバー一同笑顔が絶えず、子どもたちとの交流を楽しませていただきました。

私たちの職業体験ブースでは、子どもたちに折り紙や塗り絵で作ったアイテムを、仮想の通貨（紙幣）と交換し射的でお菓子屋やおもちゃを獲得してもらいました。

地域センターの祭りは地域の魅力を感じる場で、多くの人々が集まって楽しんでいる姿が印象的で、みんなが一堂に会して楽しむ瞬間でもありました。若松ふれあいまつりは地域の方の楽しみであり、地元コミュニティの結束を感じさせてくれる素晴らしいまつりでした。来年も楽しみにしています。



若松ふれあいまつりの様子



第1回 わかまつっこの日 7月29日(土)

若松地域センターで、新宿区の伝統文化である絞り染めの体験をしました。染色に興味のある子どもたちが、保護者と一緒に大勢来てくれました。

上落合の吉澤湯のし加工所の代表である吉澤敏さん他5名の講師の方をお招きして実施しました。染め方の説明を聞いてから、輪ゴムと割り箸を使って、布を折ったり結んだり工夫して、楽しみながら頑張っていました。染め上がったのを見て「ヤッター」と喜んでる姿を写真におさめている親子もいました。笑顔で帰る子どもたちを見てほっと嬉しくなりました。



みどりの講座 11月18日(土)

秋が深まるこの時、講師香山三紀先生のご指導のもと、みどりと花いっぱいの町のコンセプトで、クリスマス、正月用の寄せ植え作りを行いました。一つの大きな鉢の中に植物の花のつき方、成長パターン、花の色の雰囲気やイメージも考えに入れて組み合わせをし、自分の個性を出せるからおもしろい。秋から春までの季節、ベランダ、庭、玄関等で、楽しむことができます。花は、見るだけで心を豊かにし、リラックス出来、元気を出せる事で、誰でも笑顔になれます。花を愛でる香山先生は、咲き終えた花々の処理の事迄、楽しく講義をしてくれました。みんな夢中で、話を聞いていました。私たちは、花を眺めて心豊かになれることを思うと、一日も早く世界の紛争が終わることを願うばかりです。



コミュニティバスツアー 8月20日(日)

今回は、「トマトと生産農場の体験学習」なので、何をするのか想像をしながら、農場へと向かいました。現地に着いた時は、赤く熟したトマトが枝に付いていました。収穫後はどのように加工され商品になるのか、お話が聞けたらよかったですと思います。帰りに、摘み取っておいたトマトをいただいた時、触れてみて初めて加工用と生で食べる種類の違いが分かりました。

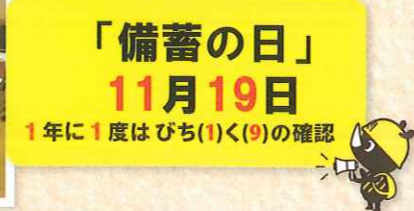
次に訪れた吹き割の滝は、東洋のナイヤガラとも表現されているように、川幅いっぱい広がっていて、落差がない地面から水が湧き出るような不思議な滝でした。猛暑の中、自然の涼しさは心が和み最高でした。



第2回 防災講座 11月25日(土)

昨年度に引き続き防災講座を開催しました。防災講座では、「いざ大地震に備えて(災害時の自助・共助について)」について、新宿区危機管理課の飯田氏からご講演いただき、参加者に災害時に水等を節約できるレシピの材料(缶詰)をお配りしました。

ところで今年は関東大震災から100年の節目の年になります。忙しい日常の中では防災意識が薄れがちになりますが、皆様のご家庭での備えは十分でしょうか。新宿区では最低3日分、できれば1週間分の備蓄を推奨しています。この記事をきっかけに、是非ご家庭での備蓄物資等の備えが十分か、今一度確認してみたいかがでしょうか。



朗読で聴く怪談 第12回 小泉八雲の世界 8月27日(日)

出演:青柳ものがたり・河原田ヤスケ 雪女・酒井麻吏 尺八・松本浩和 題字・金周會

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は、晩年の5年程、現在の新宿区富久町に住居を構え、近くの自證院円融寺(瘤寺)の樹木の多い風景をととても好んだそうです。ところがあるとき、それらの樹木が伐採されてしまい、心を痛めた八雲は、終焉の地となる大久保に転居したのです。

朗読「青柳ものがたり」では、青柳という美しい女性が「私は人間ではござりませぬ。心は木の心でござります。柳の生が私の命なのでござります。それを誰やらがいじわるに、私の元木を切り倒しております。それで死なねばなりませぬ・・・。」

八雲は、この作品で、木にも魂があるのだと、樹木の大切さを伝えています。神宮外苑の樹木伐採問題、八雲ならどう思うでしょう・・・。

